

令和6年度事業計画

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

(株)八尾サービス

〈基本方針〉

はじめに、元日に発生した能登半島を震源とする最大震度7の大地震は、新年を祝って家族・親族が集う一家だんらんを一変させました。震源となった能登半島では、多くの家屋が倒壊あるいは焼失し、200名を超える尊い命が失われました。この震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りいたします。また、土砂崩れ、道路の陥没、海面の隆起などにより復旧作業が進まず、地震から2か月を経過する今も多くの方が避難所生活を余儀なくされております。

富山県でも震度5強を観測し、強い揺れや地面の液状化等による建物被害が多数発生し、地震前の日常のくらしに戻ることができない被災者も大勢いらっしゃいます。改めて、被災されました方々に対し、心からお見舞いを申し上げます。

幸いなことに、当社が富山市より指定管理者として受託する公園や広場、ゆめの森交流施設等には大きな被害はなく、元日以降、通常営業を続けており、また、能登で避難所生活をしている方々の二次避難施設としても登録しているところです。

この当社が管理する各種施設のうち、「ゆうゆう館」の昨年度の状況については、地域コミュニティや会社組織などで、顔を合わせた交流の重要性が再認識され、宴会客数や入浴者数が増え、当社の経営を支える大切な柱となりつつありました。

こうした中、発生した大震災により、予約のキャンセルもありましたが、本年3月には北陸新幹線が敦賀駅まで延伸され、あわせて北陸4県の早期観光復興のための「北陸応援割」や「とやま応援クーポン」等の旅行支援もスタートします。こうした北陸地域の活性化策による後押しに期待を込め、社員一同、力をあわせ、一日も早い地域の復興と発展に尽力してまいります。

さて、当社では、令和6年度から、新たにゆめの森交流施設の3か年の指定管理業務が始まります。これまで以上に、良質なサービスの提供、広告等による積極的な営業、事業の効率化、コスト意識の徹底などにより、早期の黒字化を達成したいと考えております。

そして、これからも、地域に親しまれ信頼される企業を目指し、公益性に配慮しながら柔軟な発想を取り入れ、公的施設の管理運営、自主事業活動の推進を柱に、サービスの向上に取り組んでまいりたいと考えております。